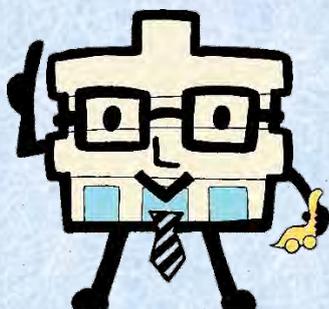
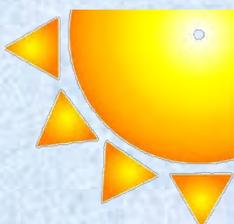


大泉あさひで通信

発行：社会福祉法人 大泉旭出学園 旭出生産福祉園 〒178 - 0063 東京都練馬区東大泉7 - 21 - 32
Tel 03 - 3925 - 6166 Fax 03 - 3925 - 6169 HP <http://www.asahide.or.jp/>



コロナに
負けるな



新型コロナ対応で始まった

令和2年度・・・

旭出生産福祉園園長

浅井 浩

新型コロナ感染の世界的拡大

昨年の12月に中国の武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染拡大は、あつという間に世界的な脅威となりました。

感染拡大の防止には集団感染(クラスター)の抑止が重要だとして、安倍首相は2月27日に、大規模イベントの自粛や全国の学校に一斉休校を要請。3月24日には、感染の世界的流行(パンデミック)への配慮から今夏に開催されるはずだった東京オリンピック・パラリンピックの来夏への延期が決まりました。4月7日に発せられた七都道府県を対象とする「緊急事態宣言」は、4月16日には全国レベルの宣言となりました。

新聞もテレビ番組も連日、新型コロナウイルスに関する取り上げの中で、今年度の施設運営はコロナ対応で始まりました。

宣言による店舗等の営業自粛、休業、各種行事やイベントの中止が相次ぎ、学校の休校や不要不急の外出自粛要請は長期化し、日本高野連は5月20日に春の選抜大会の中止に続いて夏の甲子園大会も中止と決めました。

こうしたことの影響は甚大で、観光や販売、生産などをはじめ各分野の経営及び事業の存続そのものにかかわるものとなりました。また人々の日常生活も否応なく一変し、政府が

掲げる「働き方改革」や、教育や福祉、医療等に関する政策的な問題や課題等も露呈し、業種や分野に関係なく、事業経営の持続に関わる問題となったわけですが、それには国及び各自自治体の考え方や在り方が大きく影響するということも改めて感じる機会になったと思います。

また当たり前のように思っていた日常生活がいつも簡単に変わってしまう一方で、新たな創造やチャンスへの気付きもあつたようです。こうしたことが歴史の一コマとなつて刻まれていくのだと思います。

コロナ禍の旭出グループ

学校の一斉休校と同様に、福祉施設もまたコロナの影響を大きく受けることになりました。旭出グループの特別支援学校、福祉施設の所在地は東京・静岡・千葉に別れていますが、その影響は同じです。ただ、いずれの事業所も感染等による重大事態に陥ることなく今に至っているのは何よりだと思いません。新型コロナウィルスへの対応はそれぞれ所在地の環境条件や各自自治体、関係機関の発する情報等を踏まえ、施設機能や施設利用者の実情等に配慮し、感染防止策を講じてきたわけですが、油断できない状況はまだまだ続くと考えなければなりません。

千葉県香取市にある大利根旭出福祉園の場合は、3月28日に近隣の施設で集団感染が判明し、テレビや新聞などで報道されたとおりです。その施設は対応などでさぞ大変な思いをされたことと思います。

大利根旭出福祉園にも感染の拡大が及ぶ

のではないかとという心配もあつたわけですが、検査結果は、近隣の施設と関わった一名の利用者とその利用者との濃厚接触のあつた一名の利用者の二名の方が陽性でしたが、発熱等の症状は軽く、迅速な対応で、他の利用者にも職員にも感染が広がることなく済みました。また地域の方々のご理解もあつて、風評被害のようなこともなく本当によかつたと思います。なお大利根旭出福祉園では、昨年の台風15号の襲来と、この度のコロナ対応では、平常時とは大きく異なる状況下において、施設長・職員の大奮闘があつたことをここに特記しておきます。

東京練馬区にある旭出生産福祉園の場合、緊急事態宣言を受け、4月8日から通所部は休園し、入所部のみ運営を続けました。入所者の生活支援には休園中の通所部職員への応援を得て支援をきたすことなくしのぐことができました。通所部は5月25日の緊急事態宣言の全面解除を受け、翌日の26日から再開しましたが、8月26日に、通所者一名の方が利用しているグループホームで感染者が出たためその方は検査を受けました。幸い結果は陰性で、体調不良などもなく、通所を二週間控えることだけで済みました。

コロナ対応では何かと行き届かぬこともあり、施設の利用者、そのご家族の皆様には大変なご心配、ご迷惑、ご負担をおかけすることになったにもかかわらず、ご理解とご協力、ご支援をいただき、心から感謝御礼を申し上げます。

来年度は、本来の施設運営を取り戻すことができまますようにと願っている次第です。

新しい生活様式

長い緊急事態宣言が解除されて、五月二十六日より福祉園が再開しました。手洗い、うがい、マスクの着用、消毒など、新しいルールにも慣れてきました。密を避けるために工夫をしながら活動すること、時間に差で食堂を利用すること、こまめに換気や体調管理をすることなど、利用者の皆さんと職員が安心して生活できるような協力して過ごして様子を紹介します。(宮崎)

登園 活動場所に入る前に検温と消毒



爪や指の間も時間をかけてしっかり洗っています。

毎日の習慣が安心に繋がります。

昼食 離れて、仕切って



まんまるでは手作りの仕切り板を使用して食べています。



食事の時間を2部制にして食べ終わったらその都度消毒をしています。

日中活動 それぞれの工夫と対策



座る向きや隣の席との距離を考えながら活動しています。



カポックの小枝ではビニールシートで対策をしてパン販売をしています。

夕方、入所棟では… 検温・消毒の徹底



マスクが品薄でなかなか手に入らなかった時期に、男性職員が慣れないミシンや手縫いでマスクを作ってくれました。

フェイスシールドの活用



歯磨きの際に使用しています。

明日も安心して過ごせるように



事務職員や看護師も毎日消毒してくれています。

送迎車 朝・夕、利用後に消毒と換気



車内が密にならないように便を増やして送迎しています。往復5回、その都度消毒をしています。

あ さ ひ で

5/3

5/5

フェスティバル



映画鑑賞



ぬり絵
コーナー



思い出
コーナー



お菓子
釣り



ボーリング



今年のゴールデンウィークは緊急事態宣言下であったため外出も帰宅もできませんでした。

長い休みをどうしようかと考えている中、5月3日と5日にイベントをしようとした日中活動職員より提案がありました。

それが「あさひでフェスティバル」です。

日中活動職員に協力してもらい、食堂、多目的棟、入所棟、紙工科と園の建物全体を使って行いました。

内容はぬり絵、ボーリング、お菓子釣り、映画鑑賞、思い出の写真コーナー、マスク作り、おやつ作り、ダンスと盛りだくさんです。

園内いっぱいには練り広げられたイベントに皆さん大満足でした。

長い自粛期間のいい息抜きになりました。



(落合)

出張理髪サービス

自粛期間中に困ったことの一つとして散髪に行けないということがありました。そこでご近所のあいだ理容室さんに出張理髪サービスをお願いしました。

いつもお世話になっていらっしゃるなので安心してお任せできました。ありがとうございました。



(落合)

余暇活動・小行事

大勢が集まるレクリエーションは密にならないよう間隔を空けて行っています。特になにかを食べるときは必ず席が隣同士や向かい合わせにならないように気を付けています。

(落合)



お月見の会



神経衰弱大会



今年の納涼会
は三密に気を
付けて

順番を守って
楽しく盆踊り

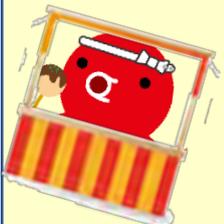
食べるときは
距離をとりま
しょう



8月23日に納涼会を行いました。今回は三密を避け、ソーシャルディスタンスを守ることを意識しました。模擬店に盆踊り、ヨーヨー釣りとストラックアウトを行いました。模擬店にはチョコバナナ・たこ焼き・ジュース・アイスが出ました。模擬店で出た食事を食べる席について、以前は自由席だったので今回は固定席とし、他者と向かい合わせ、また隣り同士にならないように配慮しました。食堂の改装があり以前と比べてだいぶ広くなったため、苦勞することがなく十分なスペースを確保することができました。

そしてアトラクションは順番を守り、距離をとりながら行いました。皆さんテレビの情報や日頃の職員からの話もあるため、感染予防の意識が高く、ルールを守って楽しむことができていました。

次年度は保護者の皆様や外部のゲストを招いて、気兼ねなく納涼会ができることを楽しみにしております。



(諸岡)

パズル作り

寮では近ごろパズルがブームです。根気強くピースをつなげて素晴らしい作品を作っています。寮の至るところに作品が飾られています。間近でご覧いただけなのが残念です。

(落合)



新職員紹介

はじめまして

7月から寮職員として勤務することになりました。福島未希です。

まだまだ分からないことだらけで先輩や利用者さん達から多くのことを学ぶ日々ですが、最近では声をかけて下さる利用者さん達が増えコミュニケーションを多く交わすようになり毎日楽しく仕事をさせて頂いています。

福祉や介護の経験も少なく未熟ですが、一人前の職員になれるよう精一杯頑張りたいです。



(入所部 福島 未希)

新しい食堂と

調理設備の紹介

昨年度に食堂と調理室の大規模工事を
行いました。
遅くなりましたが改めてご紹介します。

特別食堂



座席まわりの
スペースにも余
裕ができ、車椅
子でもスムーズ
に移動できるよ
うになりました。

食堂



食堂は床が緑
からブラウンに
なり、照明も寒
色から暖色にな
りました。

配膳室がなく
なったことで
広々とした空間
になり、隣の列
との間隔を十分
にとつてテーブ
ルを配置できる
ようになりました。

また、温かいものと冷たいものを分け
て保存できる温冷配膳車が新しく導入さ
れました。
これにより温かいものは温かいまま、
冷たいものは冷たいまま提供できるよう
になりました。

温冷配膳車



冷たい

温かい



そしてこの温冷配膳車の清掃を一手に
引き受けてくれているのが宮本航さんで
す。宮本さんは旭出学園(特別支援学校)
専攻科を卒業後に調理で働き始め、もう
3年になります。

毎日7台の温冷配膳車の清掃と、食堂
の配膳準備や清掃など、とても几帳面に
頑張ってくれています。



宮本 航さん

掃除は任せて



地下にある調理室も新しくなり、より
一層おいしい食事が作れるようになりま
した。

調理職員より

食堂が広々と生まれ変わり、皆さんゆつた
りとしたスペースで食事ができるようになり
ました。温冷配膳車が
加わったことでメニ
ューの幅も広がりました。
これからも皆さんに
食事の時間を楽しんで
いただけるよう、調理
職員一同がんばります
のでよろしくお願いい
たします。



(新中)

職員研修

8月7日に浅井理事長に講師をお願いし、「創立70周年 旭出学園の教育と福祉」というテーマでお話ししていただきました。

旭出学園の事業に50年以上に渡り携わって来られ、三木安正先生、坂本豊先生と実際にお仕事をされてきた浅井理事長のお話は、大変力強いものがありました。内容を簡単ではありますがご紹介致します。

《残されている夢》
学校の正門正面にある碑に刻まれている「残されている夢」について。



記念碑《残されている夢》

今まで学校をつくり、施設（働く場・生活の場）をつくってきたが、まだ知的障害者の一生を考えた取り組み「生涯支援」の道は半ばだというお話でした。

その実現のためには創設者である三木安正先生の教育理念と福祉理念に沿った人材の育成と施設の整備が必要だということです。

その理念についてはこの限られたス

ペース内では伝えきれませんが「卒業のない学園」というところに集約されているのではと個人的には思いました。

今回の話を聞いて私たちはその理念をしっかりと継承し、これからの旭出を支えていこうと気持ちを新たにしました。

《知的障害者の教育・福祉と旭出学園の歩み》

三木安正先生は児童福祉法の起草や全日本特殊教育研究連盟の結成など多岐にわたり多くの業績を残しています。

その業績の一つとして旭出学園の創立があります。旭出学園の歩みはそのま

ま戦後日本の歩みの縮図でもありました。これは過去のことだけではなく、現在、

未来にも当てはまりこれからの我々職員の取り組みが「これからの日本をどうしていくのか」ということにも繋がっているということなのです。

これから出てくるさまざまな課題に対し、職員一人ひとりのアイデアややる気が大変重要であるとお言葉をいただきました。

《浅井理事長の思い出話》

浅井理事長自身の当時のエピソードをいくつか披露していただきました。

紙工科で「社長」と呼ばれていて皆で日々の仕事に取り組んでいたことや、待

ち望んだ断裁機の購入が嬉しくて、その上で寝ころんだなどのほっこりするエピソードから、当時苦勞して大変だったお話など満載でした。

この頃の雰囲気があるまま今の福祉園に受け継がれているのだなあと感じました。

《まとめとして》

簡単ではありますが今回の研修のご紹介でした。

紙面の都合で今回詳しく載せられなかった三木先生の理念や各施設の現況・課題等については、先般発行の45周年記念誌に目を通していただければ幸いです。

これから旭出学園創立80周年に向け、新たな一歩を踏み出していこうと、そう感じさせてくれる研修でした。

(木村)



三密に注意しての研修風景

後援会のご寄付ご芳名一覧(順不同)

令和元年四月～令和九年三月末まで

ホームページに掲載に際して
お名前は伏せさせて頂きました。

『みなさまからのご支援ご協力に
厚く御礼申し上げます』



大泉旭出学園の事業につきましてはご高配を賜り感謝、お礼申し上げます。
特色ある独自性を発揮した事業展開とその充実を図っていくためには経営基盤を固めていく必要があります。さらに多くの方々に後援会の会員になっていただきたく、会員の方々にはお知り合いなどにご紹介いただけたら幸いに存じます。
より一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。



編集後記

あさひで通信編集係をしている入所部の落合と申します。
コロナウイルスの影響で制限のかかる毎日ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。
私は万が一にでも園にウイルスを持ち込まないようにと、日々気をつけて生活をしております。
そういった生活の中でせっかくだから自らの生活習慣を改めてみようと考え実践してみました。
私は入所部で働いており夜勤があるため睡眠にはばらつきが出てしまいますが、できるだけ朝食、昼食、夕食をしつかりと食べ、適度な運動をし、新しく読書をはじめてみました。
そうした生活を続けていくと心身ともにとても調子がよくなりました。
せっかくなので毎晩飲んでいたお酒も控えたところ、さらに調子がよくなりました。
今回は自らを見つめなおすいい機会になったと前向きに捉えています。
33歳独身一人暮らし男性の自粛期間の過ごし方でした。